

参加してみませんか

○耐震診断の実際と安全な家づくり
～第5回住まいの講座開催～

耐震診断の方法と

地震に強い家づくりのポイント

岩手県内には約40万戸の木造住宅があります。そのうち約半数の住宅が、現在の耐震基準が適用される昭和56年以前に建てられています。

しかし、これまでの地震被害を見ると、この昭和56年以前に建てられた住宅に被害が集中しているため、これらの住宅について、早急に耐震性能を診断する必要があります。

今回の講座では、実際に耐震診断を行った建築士から、耐震診断の方法や診断結果などを報告してもらうほか、耐震診断に対する市町村の取り組みと、地震に強い家づくりのポイントを紹介します。

■日時

11月9日(木) 13:30～16:15

■場所

盛岡市プラザおでって おでってホール
(盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)

■内容

- ・耐震診断士からの報告 - 診断の実際 -
赤坂 忠美 氏 (赤坂建築事務所)
金澤 達也 氏 (金澤達也設計事務所)
柏館 旨緒 氏 (有限会社アルファシステム)
- ・市町村の取り組み
釜石市都市計画課
陸前高田市建設課
久慈市建築住宅課

■問い合わせ

いわてハウジングフォーラム事務局
(財)岩手県建築住宅センター TEL: 019-623-4414
<http://www.jutakuplaza.com/forum/index03.html>
事前にお申し込みください。

○森と里が結ぶ、木の家づくり
～第6回住まいの講座開催～

木の家で暮らすこと 木の家をつくること

木はぬくもりがあるだけでなく、岩手の木を上手に利用することで、森林資源を活性化させることができます。

また、木は成長する間に二酸化炭素を吸収し酸素を作り出しますが、その木が燃える際には、成長する間に吸収した量よりも少ない二酸化炭素しか排出しないため、間伐材やペレットなどは、環境にやさしい資源として注目されています。

今回の講座では、環境にもやさしい木材を使った住宅について、家づくりネットワークの取り組みによる木材の流通システムや、木造住宅の構造、建築基準法への対応などを考察し、木の持つ可能性についてみんなで考えていきます。

■日時

11月20日(月) 13:30～17:00

■場所

金ヶ崎町中央生涯教育センター 大ホール
(金ヶ崎町西根南羽沢55)

■内容

- ・顔の見える木材での家づくりネットワークの実態とその問題点
野辺 公一 氏
(株) オブコード研究所 所長
- ・建築基準法改正による木材利用範囲の拡大
- 構造を中心として -
小野 泰 氏
(ものづくり大学建設技能工芸学科 助教授)

■問い合わせ

農林水産部林業振興課 TEL: 019-629-5774
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0552/top.htm>
事前にお申し込みください。

道路開通情報

一般国道456号関口工区（せきぐちこうく）が全線開通

■平成18年10月13日開通

一般国道456号は、県都盛岡と県南部を結び、国道4号を補完する重要な路線となっています。しかし、関口地区は道路のカーブがきつく、幅員が狭いうえ、稗貫川に架かる稗貫川橋も老朽化が進んでいることから、早期整備が望まれていました。

本事業は、圃場整備事業に伴う一部用地の確保と合わせ、バイパス及び橋の整備を行い、交通の安全確保や生活環境の改善を図ったものです。

関口工区は全延長2,320m、幅員は13.0m（うち車道6.5m）で片側に3.5mの歩道を設置しており、今回供用開始する1,000mにより全線開通となります。



開通後

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1501/doboku/>



概略図

■問い合わせ先

県南広域振興局花巻総合支局

TEL：0198-22-4971



開通後